

YD ミニストリー ニュースレター

インディー・ドゥアイガン #14

2022年6月号

...so that may be glad together. (John ヨハネ 4 : 36)

YD は、タイ語で「ともに喜ぶため」を意味する単語の頭文字です



タイ王国チェンマイ日本語キリスト教会 を通してのタイ宣教

どうか、希望の神が、信仰による すべての喜びと平安で あなたがたを満たし、聖霊の力によって希望にあふれさせてくださいますように。
ローマ人への手紙 15 : 13

例年以上に早く雨季に入ったチェンマイより、祈り支えてくださる皆さまに心からの感謝を申し上げます。チェンマイでは2021年のイースター直後からコロナ感染が拡大し、その後は7月の献堂礼拝以外はオンラインでの礼拝、集会が続いていました。観光立国であるタイの経済状況も深刻化し、日本語教会信徒のタイ人家族もチェンマイでの職を失うなどし、ご家族で遠い田舎や日本に移られた方もおられました。コロナ前は毎週訪問できていた高齢者施設、刑務所も、ほとんど訪問ができない1年でした。

チェンマイでの罹患はまだまだ身近な状況が続いていますが、教会総会にて、5月第三主日より、会堂礼拝を再開することを皆で決めました。集うことが難しいハイリスクの方々や、遠隔地からの参加もあるため、オンライン礼拝と並行しての再開です。在住者自体の人数が少ない上、すでにオンライン礼拝と動画配信での礼拝が習慣となっている方々もあって、初回に会堂に集ったのは5名でした。

その朝、約1年ぶりにゲートに看板を出し、オンライン礼拝中と同じ、奉仕者3名で礼拝を始めようとしたのですが、1台の車が駐車場に入ってきました。「収束までは出席は難しいと思います」と言われていたご夫妻でした。奥さまは既往症があってワクチンを受けることができないため、ご主人と息子さんが出席を心配しておられたのです。嬉しそうに会堂へ入って来られたお姿に、迎えた者たちからも喜びの声が上がりました。

翌週はもうひとりが加わり、「やっぱり教会に集まったの礼拝は特別です」と、礼拝後も解散を惜しんでおられました。次の週にはもうひとり。帰られる前に、礼拝で讃美した讃美歌をピアノで弾いて行かれました。



建てつけに課題がある扉を何度も開閉し、換気しながらの少人数での礼拝ですが、主が喜びを満たしていただきます。会堂での礼拝をもってチェンマイでの邦人宣教、現地教会との宣教協力も再始動していきます。集うことが叶わず、寂しい思いをしておられる施設住まいの方々にも、主の平安を祈りつつ、聖霊の力によって一つの希望に満たされる教会の歩みを目指します。お祈りくださる皆さまの、コロナの緊張下にある日々と宣教にも、主への信仰による喜びと平安と希望が満ちあふれますように。

<祈禱課題>

- ・新会堂で再開した会堂礼拝、再開予定の宣教師館での日本語クラス、刑務所訪問、開始予定の子ども会が感染から守られ、救いの実を結ぶように
- ・規制緩和によって増え始めている日本からの季節滞在者や旅行者を愛と知恵をもってふさわしくお迎えできるように
- ・日本語教会が御霊によって一つとされ、在住者の救いと霊的成長のために用いられるように

<支援窓口>

YD ミニストリー支援会 郵便振替 00870-6-154230

支援会お問合せ先 shimoyamada@mishimagrace.com

電話 Fax 055-989-7802

ホームページ <http://www.yd-ministry.christian.jp/>

(「YD ミニストリー」で ご検索いただいても ご覧いただけます)

日本同盟基督教団事務所 郵便振替 00120-5-142886

(事務所宛の献金は「長谷部愛実への指定献金」とご明記ください)